

## 第2学年 道徳学習指導案

2021年5月15日（土）

指導者 1組 三好 恵子  
 2組 根岸 恭央  
 3組 吉富さゆり  
 4組 柚木 鈴翔  
 5組 小野 泰裕

1. ねらい 生きることを喜び、生命を大切にしようとする心情を育てる。
2. 資料名 「ぼく」 (出典：「新しいどうとく2」 東京書籍)
3. 展開

	学習活動と主な発問等	・指導上の留意点 ☆評価
導 入	(1) 自分の好きなことや好きなものを想起する。 ○あなたの好きなことや好きなものは何ですか。 ・鬼ごっこ ・ドッジボール ・サッカー ・ゲーム ・カレーライス ・ラーメン	・教材に対する意識付けをする。 ・思いついたことを発表する。簡単な理由を添えるようにして聞いてみる。
展 開	(2) 「ぼく」を読んで話し合う。 ○「ぼく」の好きなものには、どんなものがあつたでしょう。そして、なぜ好きなのだと思いますか。 ・お父さんが好き。力持ちで頑張り屋だから。 ・飼い犬のベス。安心するから。 ・パンが好き。焼きたてがおいしいと思うから。 ◎「ぼく」が一番好きなものは「ぼく」と言っているのは、どんな気持ちからだと思いますか。 ・やっぱり自分のことが一番好きだから。 ・いろいろなものが好きな自分が好きだから。 ・生きていることが、いいと思っているから。 ○「ぼく」は、どんな気持ちから大きくなったらパン屋さんになりたいと思っているのでしょうか。 ・自分が作ったパンをみんなに食べてもらいたいから。 ・みんなが喜ぶパンを作りたいから。 (3) 「自分への しょうじょう」を書く。 ○自分の好きなところやいいところをじっくり考えて、自分への賞状を作りましょう。	・主人公「ぼく」を紹介して教材提示する。 ・場面絵を活用し、好きなものの様子を想像しやすくするとともに、好きなものが広い範囲にあるものに着目できるようにする。 ・自分の存在そのものの尊さを考えられるようにする。 ☆生きていることの喜びを多面的、多角的に考えている。【発言・ワークシート】 ・自分の存在そのものの尊さを考えられるようにする。 ・いいところや頑張っているところの例を挙げて考えやすいようにする。 ☆自分のよさを多様に考えている。 【ワークシート】
終 末	(4) 自分が書いた賞状を紹介する。	・友達の賞状を確認しながら、感じたことを伝え合う。

《授業の見どころ》

○自分の賞状作りで、自分の好きなところやいいところを素直に認められている。